

いぼがわせせらぎだより

2007年
(平成19年)
10月発行

No.29

このニュースレターはホームページでもごらんになれます。

<http://www.iboriver.jp/>

今号の主な内容

- 第22回揖保川流域委員会
審議内容の報告
- 揖保川生物ウォッチング
揖保川に生息する生物紹介
オオサンショウウオ
日本ハンザキ研究所 栃本 武良 委員
- こんにちは、委員です。
流域委員会メンバーの紹介
～井下田 猛 委員
- 第6回揖保川流域サミットの紹介



揖保川流域委員会は、「揖保川河川整備計画の案（直轄区間）」の策定にあたり、河川整備計画の原案及び関係住民意見の反映のあり方について意見を述べることを目的としています。

委員会は公開ですので、どなたでも傍聴することができます。また、平成14年3月より開催されている委員会の議事録及び資料は揖保川流域委員会のホームページでごらんになることができます。

<http://www.iboriver.jp/>

表紙の写真は宍粟市一宮町にお住まいの尾前友一さんから寄せられた写真で安積橋付近で撮影された風景です。揖保川は子供達の水泳場となっており、この一帯は清流につき夏場は大勢のアユ釣り客で賑わいます。

揖保川流域委員会＊庶務

お問い合わせ窓口



請負者：株式会社 建設技術研究所 中国支社
 担当：竹内、中野
 住所：〒732-0052 広島市東区光町 1-13-20 ディア光町
 電話番号：082-261-3805 FAX 番号：082-261-3740
 eメール：ibogawa-office@ctie.co.jp



第22回 揖保川流域委員会

日時：平成19年8月20日(月)
午前9:30～午後12:00
場所：たつの市新富ふれあい福祉会館
1F 大ホール

揖保川流域の住民が安全で安心な生活のために、揖保川の河川整備計画の策定を行っています。河川整備にあたっては、事業により環境に与える影響についてあらかじめよく考えておくことが必要です。これまでは環境への影響評価は事業の実施段階に行われることが多く、計画段階では事業費や技術面での検討がほとんどでした。揖保川では河川整備計画策定段階から環境も含めた影響分析を行います。第22回委員会では環境等影響分析計画書(案)の提案について報告がなされました。



複数案の抽出

後で合理的に比較できるように、考えられる案のうち違いの少ない案どうしを整理して、複数案として抽出しました。



複数案の抽出・設定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
現状	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
現状のまま手を付けない	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
目標洪水: 昭和45年8月洪水	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
目標洪水: 昭和47年7月洪水	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
目標洪水: 昭和51年9月洪水	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

●洪水調節施設設置による河川対策事業への影響が小さいため、目標洪水の比較は河川対策で行えば足りる。
●洪水調節施設の有無による影響の違いは、最も洪水調節効果が高いS45年8月洪水で代表して行う。

B~I、N、O案について、環境影響分析を実施

環境等影響分析のながれ



揖保川の望ましい姿を目指して

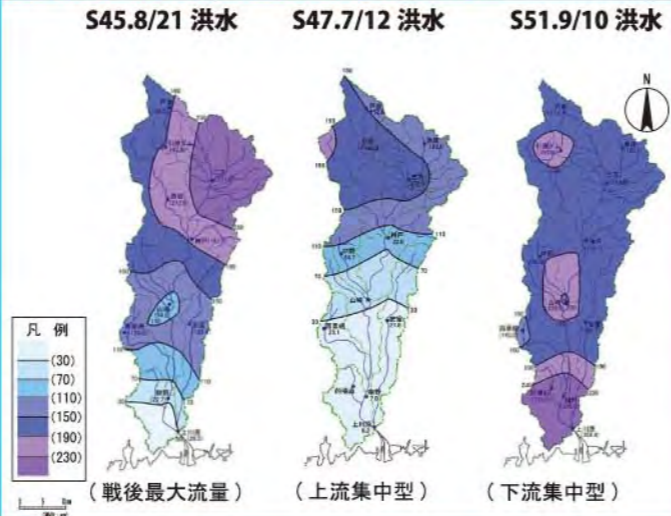
揖保川の目指すべき姿を示した「揖保川水系河川整備基本方針」が平成19年3月にできました。今後はこの基本方針を目標として、どうやって望ましい揖保川の姿に近づけていくかを議論していくこととなります。基本方針で決めた揖保川の望ましい姿を実現するために、治水、利水、環境の3つの視点から、それぞれ具体的にどう整備するかを検討しました。

第22回委員会で報告

公聴会の開催等
住民意見聴取

治水の具体的方策

揖保川で過去に発生した3つの大きさや特徴が異なる洪水を選んで、現在これらの洪水が再び起こっても被害がおきないような具体的方策を考えます。



整備は新規ダムや遊水地の設置、河床掘削や築堤などの方法を組み合わせます。

- 1 新しく治水ダムをつくる
- 2 遊水地をつくる
- 3 つくります 築堤する
- 4 河を掘削する

環境の具体的方策



利水の具体的方策

- 【利水の適正化】
1. 揖保川の水の循環がどのような仕組みになっているかを調査し、実態を解明します。
 2. 農業に利用する水量について、現状での必要な量を調べて水利権を見直します。

考えられる案の作成

治水、利水、環境の3つの視点からみた具体的方策を組み合わせ、揖保川の整備内容について考えられる案をだしました。

分析計画書(案)の作成

抽出した複数案を、どれが最も良いか選び出すために、それぞれの案を比較する必要があります。それぞれの案について、環境、社会、経済、技術への影響がどのくらいあるのか比較する方法について示した分析計画書(案)を作成しました。

分析計画書(案)

【分析項目】

- 環境的影響の分析項目：土砂による水の濁り、塩素イオン濃度、地下水の水位、地下水の水位低下による地盤沈下、地域を特徴づける生態系、動物の重要な種および注目すべき生息地、植物の重要な種および群落、主要な眺望および景観資源、主要な人と自然との触れ合いの活動の場
- 社会的影響の分析項目：工事に伴う移転件数、工事に伴う交通規制の程度、土地利用規則の程度
- 経済的影響の分析項目：建築事業費の程度、維持管理費の程度
- 技術的課題の分析項目：発生土砂量、掘削及び横断工作物改築に伴う河道の安定性

【分析方法】

それぞれの分析項目について、事業特性や地域特性を踏まえて、影響を概略的にかつ効率的に把握することを目的に分析手法を選定しました。

以上が第22回委員会での報告でした

今後は

住民意見の反映

今後は、分析計画書(案)を公表し、住民の意見を計画書に反映させるために住民説明会を行いました。

分析報告書の作成

次に、住民の意見を反映させて分析報告書をつくりま

委員からのご意見

- 資料では環境の部分が多めに記述されていますが、社会的、経済的部分についても、もっと検討してほしいです。
- 分析計画書について、一般の人にも分かりやすく、具体的な内容を示した資料を作成し、より関心を高める工夫をしてほしいです。
- 環境の評価について重要な種や群落にとらわれることなく、生物の生息場としてとらえ評価してほしいです。

傍聴席からのご意見

- 住民が発言できるような会議をしてほしいです。
- 上流の現地見学会はありましたが、中流、下流も見学できる機会をつくってほしいです。
- この委員会が解散すると、発言の場がなくなるので、何らかのかたちで続けて欲しいです。

揖保川流域委員会では公開しているホームページから委員会で使用した資料が閲覧できます。また、ご要望があれば資料の提供も行います。

URL: <http://www.iboriver.jp/>

揖保川に生息するいきもの紹介です
オオサンショウウオ



オオサンショウウオの名は、昔はハンザキが標準名であった。半分に裂いても死なない程の生命力を想像させられるからだろうが、いくら生きている化石でも半分にされたら生きていけない。山陰ではハンザケと呼ばれるが、体に幅いっぱいに関く大きな口が半裂けの由来なのだ。

世界最大の両生類として日本特産の水生动物の代表でもある。豊岡の出石川から 400 個体を救出して飼育中だが、そんなに沢山いるなら天然記念物にする必要が無いのではないかという意見もある。しかし、学術的に貴重な動物として 1952 年にワランク上の特別天然記念物に指定されている。市川水系は昔から多産地として知られているが、なぜか揖保川水系の情報が少ない。死体が発見されたり、釣り人からの散発的な情報はあがるが、林田川では姫路市立水族館 40 年間にたった 1 件の確認のみであった。

きちんとした調査を実施すれば、多くの個体を確認することが出来るのだろうが川が大きいだけに難しい面もあるだろう。実は調査されていない河川がほとんどなので、人より長寿と考えられ夜の川を歩いて生態調査をしなくてはならないのが最大の難点なのだ。

(写真・文：日本ハンザキ研究所 栃本 武良 委員)

川と人が共生し、魅力あふれる揖保川流域づくりについて考える「揖保川流域サミット」がたつの市龍野町で開かれました。「こどもサイエンスひろば」や「たつのこどもエコクラブ」の活動発表、国土交通省姫路河川国道事務所より「揖保川河川整備計画策定にむけた取り組み」、各市町の揖保川に関する活動について紹介がありました。

「ふるさとの水流とエネルギー」こどもサイエンスひろば

たつの市では次世代を担うこどもたちが気軽に科学に親しみ、科学技術への関心を高めるための事業として、こどもサイエンスひろばを運営しています。揖保川の水流を利用した「小型水力発電研究開発などを行っています。

「自然にふれあいながら環境学習」たつのこどもエコクラブ会員

揖保川で水質調査や水生生物の調査を行っています。きれいな川にするために、自分たちにできることは何なのかを考えたり、これからは揖保川で自然にふれあいながら色々学んでいきたいと思ひます。

「揖保川水系河川整備計画について」

国土交通省姫路河川国道事務所

揖保川の特徴である丸石河原、河口の干潟環境などを保全しながら、河川の災害を減らすために、揖保川の現状を流域の皆様を知っていただき、今後、おおむね 30 年間の河川整備について意見を伺っていききたいと思ひます。

第 6 回 揖保川流域サミット 次第
～ふるさとの川 揖保川～

- 1 開会
- 2 揖保川流域サミット協議会会長あいさつ
- 3 揖保川流域サミット協議会 特別委員代表あいさつ
- 4 サミット会議出席者紹介
- 5 活動発表
 - ①「ふるさとの水流とエネルギー」こどもサイエンスひろば
 - ②「自然にふれあいながら環境学習」たつの子供エコクラブ会員
 - ③「揖保川水系河川整備計画について」国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
- 6 各市町・団体取り組み紹介
- 7 意見交換
- 8 次回開催代表あいさつ
- 9 閉会

たつの市

揖保川は 20 年ほど前、水質汚濁問題がありましたが、処理場の整備により現在では改善されました。また、揖保川ではイカダ下り大会や花火大会などイベントが開催され、市民の憩いの場となっています。

宍粟市

森林が川を育み、川が人々の生活に潤いを与えるという視点から、揖保川を環境教育の場として活用しています。またカヌーを生かしたまちづくりを推進しています。

姫路市

「網干川まつり」の開催や、揖保川に桜づつみや緑地公園などを整備し、市民の安らぎの場として活用しています。「地域夢プラン事業」では揖保川を大切な地域資源として位置づけ、揖保川を活かした活動を展開しています。

太子町

揖保川水系の林田川、大津茂川沿いではジョギングや散歩、サイクリングを楽しむ市民の姿が多く見られます。また地元住民による花を植える活動やイベント盛りだくさんの「岩見用水祭り」の開催など、親しまれるとともに、河川清掃など保全活動も活発に行っています。

揖保川漁業協同組合

揖保川を流域住民のみんなの川と位置づけ、組合員によるクリーン作戦、子どもたちによる稚鮎の放流イベントなどを行っています。また、鮎の遡上調査や種苗センターの改修により、安定した鮎の放流を行い、賑わいのある揖保川の再生を目指しています。



各市町・団体の
取り組み紹介

揖保川流域委員会の
メンバーを紹介します



井下田 猛 委員
姫路獨協大学名誉教授
(環境政策)

「夢物語り、上・中・下
流域の絆の実現」

大詰めを迎えています揖保川の河川整備計画は、今後 30 年間にわたって実施する河川事業を定めるもので、流域沿川に住み働いている人びとにとって、その実現策が強く求められています。

いま、全国的にはとりわけ上流各地の森林の多くは痩せて荒れはてて劣化し、保水力が低下しています。しかし、「森の恵み」は川の蘇生を着実に招きます。とくに川とのつき合いのかたの知恵をみがいて水源をよみがえらせ守ることをベースに、上・中流域と下流域の皆さんが支流を含めて「揖保川は一つ」として流域全体をとらえて、森林や里山の保全などを総合的・体系的に、そして重点

的課題として取り組むことを期待したいものです。

揖保川の場合、上流地域は 65 歳以上の高齢者が半数を占める「限界集落」が多数派ではありません。いまならば、中・下流域の人びととの協同・共生の絆の回復がなされて、自然循環と地域それぞれの個性に富む文化を大事にしつつ、水を養って豊かな環境づくりに鋭意、努力することができます。

河川をトータルにとらえて「流域人びとみんなの力」が結集するとき、30 年後の揖保川は光り輝いて豊かなふるさとの大河として、いついつまでも存在感を示してくれるにちがいありません。

表紙の写真を
募集しています！

応募方法
プリントした写真と撮影場所、撮影時期などの説明文を同封し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、揖保川流域委員会の庶務あてに郵送して下さい。なお、応募写真は未発表のものに限らせていただきます。(応募先は表紙に記載)

また、ご応募いただいた写真の一部を流域委員会ホームページでも紹介させていただきます。

※使用させていただく写真の版權、著作権は委員会に帰属するものとし、応募作品は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

